



着物と装身具に見る 江戸のいい女・いい男

2017年4月22日(土)~7月2日(日)



会 場 ■ たばこと塩の博物館 2階特別展示室
 開館時間 ■ 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
 休 館 日 ■ 毎週月曜日
 入 館 料 ■ 一般・大学生 100円【50円】/小・中・高校生 50円【20円】
 満65歳以上の方 50円【20円】

※満65歳以上の方は年齢がわかるものをお持ちください。【 】内は20名以上の団体料金

協 力 ■ 株式会社クイーポ、ポーラ文化研究所

 **たばこと塩の博物館**
 TOBACCO & SALT MUSEUM

今日では、日常的に着用することが少なくなった日本の伝統的衣服としての着物や装身具ですが、服飾の歴史においてこれらは、江戸や京・大坂を中心とする都市生活者のあいだで、個性的で斬新な趣向が求められ、高度に発達した技術を駆使して洗練された作品が数多く制作されました。日本的な感覚を持ちながらも奇抜な意匠や、多様な素材・技法による細密工芸の技術は、現代においても新鮮に映ります。

本展では、東京で袋物商として活躍した中村清商店の創始者中村清氏(1887~1946)が昭和初期に収集した、江戸から明治・大正時代にかけての染織品コレクションを中心に、女性と男性の着物とそれぞれが身につけたびと簪かんざしやたばこ入れなどの装身具約 200 点を展示し、当時の人びとが持っていた装いに関するこだわりと美意識を紹介いたします。



相楽縫竹林七賢人象牙嵌紙入れ 江戸時代中期



杉立菖蒲革提げたばこ入れ(芝居用) 江戸時代後期



黒地東海道五十三次文様着物 明治末から大正、昭和前期頃

たばしお寄席 ●午後2時~/3階視聴覚ホール/定員90名

■ 4月23日(日)

口演：柳家小八(噺家)

解説：新藤茂(国際浮世絵学会常任理事)

たばしお講座 ●午後2時~/3階視聴覚ホール/定員90名

■ 5月28日(日)

演題：「江戸のリッチモンド 青い目が見た幕末の光景」

講師：石倉孝祐(北区飛鳥山博物館学芸員)

■ 6月11日(日)

演題：「蘭学領主のお買物 嗜好品を中心に」

講師：近藤貴子(佐賀市大隈記念館元学芸員)

■ 6月18日(日)

演題：「史料から見る呉服店三井越後屋」

講師：下向井紀彦(三井文庫研究員)

展示関連講演会 ●午後2時~/3階視聴覚ホール/定員90名

■ 5月14日(日)

演題：「衣装ときれの小宇宙 袋物商中村清の選択眼」

講師：大久保尚子(宮城学院女子大学生生活文化デザイン学科教授)

展示関連イベント ●午前11時30分、午後2時の2回開催/3階視聴覚ホール/定員70名

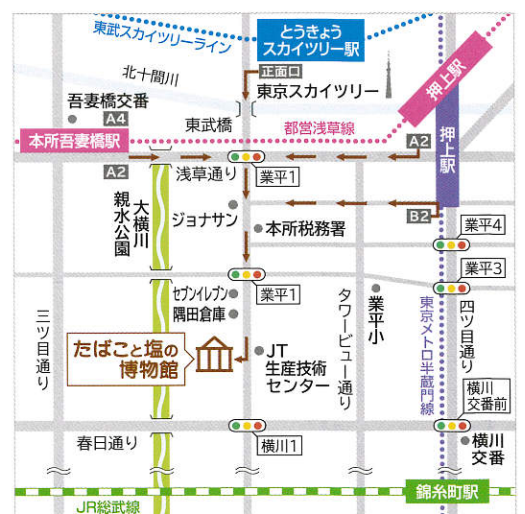
■ 6月4日(日)

「結髪実演 御殿女中のヘアスタイル」

実演：林照乃(結髪師) 解説：村田孝子(ポーラ文化研究所)

●上記の寄席、講座、講演会、イベントへの参加には入館料が必要です。

●当日開館時より、整理券を1名様につき2枚まで配布します(配布時に人数分の入館料をいただきます)。



交通・アクセス

●東京メトロ半蔵門線、東武線、京成線、都営浅草線「押上駅」より徒歩12分

●都営浅草線「本所吾妻橋駅」より徒歩10分

●東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー駅」より徒歩8分



たばこと塩の博物館

〒130-0003 東京都墨田区横川 1-16-3 TEL.03-3622-8801

TOBACCO & SALT MUSEUM <https://www.jti.co.jp/Culture/museum/>